

第19回 千葉県高文連放送コンテスト募集要項

1. 参加資格：

平成18年度に千葉県高等学校文化連盟放送専門部会に加盟している高等学校の1、2学年の生徒およびその作品。ただし、以下の参加は認めない。

- ①「VM部門」「AP部門」で昨年度全国大会に推薦された学校が、同一部門に参加すること。
- ②「アナウンス部門」「朗読部門」で、昨年度全国大会に推薦された生徒が、同一部門に参加すること。
- ③同一人物が「アナウンス部門」「朗読部門」の両方に参加すること。

2. 参加条件：

「VM部門」「AP部門」においては、各部門とも各校1作品を限度とする。ただし、「アナウンス部門」「朗読部門」については、参加数の制限はない。また、「VM部門」「AP部門」については、著作権が他の団体に帰属している作品や、他のコンクール(コンテスト)に応募した作品、およびそれと同一素材等を利用し改作した類似作品の参加は認めない。

※アナウンス部門、朗読部門について、以下の条件を満たす者は、予選を免除する。

1. 今年度NHK杯全国高校放送コンテスト（Nコン）のアナウンス部門または朗読部門で全国大会に出場した者が、本コンテストに参加する場合
2. 昨年度高文連放送コンテストのアナウンス部門または朗読部門で優秀賞を獲得した者が、本コンテストに参加する場合

※予選免除者は希望により、予選当日8時35分から、1分30秒以内の読みの練習を許可します。練習を希望する場合は、申込用紙の備考欄にその旨をお書き下さい。当日は8時30分までに受付にお集まりください。時間に間合わない場合は、練習できません。

3. 参加要項：

1) ビデオメッセージ（VM）部門

あなたの住む地域(最大千葉県内)に関する話題を取り上げた自校オリジナルのビデオ作品（ビデオカメラで撮影した映像を主体とした作品）とする。内容、手法は自由とし、できるだけユニークな作品を期待する。ただし、校内の域にとどまっている話題は不可とする。

〈条件〉

- ①参加数は各校1作品とする。
- ②発表時間は5分以内とする
- ③テープは最初から使い、番組の前後に10秒ずつ「様式規定」にあるテストパターンを録画すること。（計時は、始めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。）

※制作した学校名を直接表示したり（タイトルも含む）、クレジットコールのように音声で学校名をコールすることはしない。また、ナレーションの中に校名（略称を含め）が含まれることも認められない。ただし、作品の内容から学校名がわかることは差し支えない。これに違反した場合には、減点の対象とする。

- ④作品の再生は、主催者が行う。

〈規格〉

- ①作品はVHSテープにVHS方式の標準モードで録画し、音声はHi-Fiのみの使用とする。
*全国大会では、miniDV（民生用）での提出となります。
- ②著作権のあるもの（テレビ放送、書籍、音楽等）を使用した場合は、レコード番号、著作権者（社）名等を明記する。また著作権については、著作権法に基づき完璧に処理するものとする。（「様式規程」参照）

2) オーディオピクチャー（AP）部門

カセットテープによるステレオ音声とデジタル静止画像（枚数は自由）を併用するあなたの住む地域(最大千葉県内)の伝説・民話・神話*に関する話題を全国の高校生に伝える内容のオリジナル作品とする。内容や手法（ドキュメンタリー形式、ドラマ形式等）は自由だが、ステレオ音声や静止画像の特性を生かした斬新な作品を期待する。ただし、校内の域にとどまっている話題は不可とする。 ※「伝説・民話・神話」は、「20世紀までのもの」という条件付きです。

〈条件〉

- ① 参加数は各校1作品とする。
- ② 発表時間は5分以内とする。(計時は、音声、映像のどちらかが出たところから、両方が消えたところまでとする)
※制作した学校名を直接表示したり(タイトルも含む)、クレジットコールのように音声で学校名をコールすることはしない。また、ナレーションの中に校名(略称を含め)が含まれることも認められない。ただし、作品の内容から学校名がわかることは差し支えない。これに違反した場合には、減点の対象とする。
- ③ デジタル静止画像の投影とテープの再生は、発表校が行う。(プロジェクターは主催者が用意する)
- ④ デジタル静止画像の再生は、WindowsXPに標準添付されている「Windows Picture and Fax Viewer」を使用する。
※島根大会に合わせて「susie」での再生ではありませんので、ご注意ください。
- ⑤ デジタル静止画像再生のためのコンピューターは、主催者側で用意する。ただし、トラブルが起こった場合のことを考えて、OSがWindowsXPのコンピューターを各学校で持参してください。

〈規格〉

- ① デジタル静止画像はJPEG形式の画像を使い、ビデオプロジェクターの使用は1台とする。
- ② デジタル静止画像のデータは、1枚あたりXGA(1024×768ピクセル)サイズとし、総数50画像以内(暗転のために黒一面の画像を使用する場合には、黒画像は枚数には含まない)、総容量50MB以内とし、CD-Rに保存し、ラベルを貼り、ケースに入れて提出する。その際、CD-Rに保存されている画像一覧(A4サイズ、合計容量記したもの、できるだけカラー)も提出する。
- ③ 音声はカセットテープA面のリーダーテープの直後から録音する。また、ドルビー等のノイズリダクションは使ってはならない。再生は「ステレオ再生」とする。
*全国大会では、MDとカセットテープの両方を提出することになります。
- ④ 著作権のあるもの(テレビ放送、書籍、音楽等)を使用した場合は、レコード番号、著作権者(社)名等を明記する。また著作権については、著作権法に基づき完璧に処理するものとする。(「様式規程」参照)
*本コンテストで推薦を受けて全国大会で発表する場合には、CD-Rに保存して、事前提出することになります。

3) アナウンス部門

あなたの住む地域(最大千葉県内)の伝説・民話・神話*に関する話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿とする。ただし、校内の域にとどまっている話題は不可とする。また、他のコンクール(コンテスト)に応募した原稿、およびそれと同一素材等を利用し改作した類似原稿の参加は認めない。 ※「伝説・民話・神話」は、「20世紀までのもの」という条件付きです。

〈条件〉

- ① 参加数の制限はない。
- ② 発表時間は、エントリー番号、氏名を含めて1分30秒以内とする。(タイトルは読まない)
※学校名は言わない。また、タイトルにも学校名は入れない。ただし、原稿の内容から学校名がわかることは差し支えない。これに違反した場合には、減点の対象とする。
*本コンテストで推薦を受け全国大会で発表する場合には、JPEG形式のデジタル静止画像(5枚以内)を併用することが可能です。(BGMの使用は不可) また発表時間は、学校名、氏名を含めて1分30秒以内となっていますので、そのことを考慮して原稿を作成してください。

4) 朗読部門

千葉県ゆかりの作品の中から原典のまま*選ぶものとする。(「千葉県ゆかりの作品」とは、例：滝沢馬琴『南総里見八犬伝』、伊藤左千夫『野菊の墓』、山本周五郎『青べか物語』、高村光太郎『智恵子抄(より、九十九里を舞台とした詩)』などがあり、高文連放送コンテストの主旨からして、郷土色を表出している文章が望ましい)

※「南総里見八犬伝」や「更級日記」などのような古典作品については、口語訳は一切認めない。

〈条 件〉

- ① 参加数の制限はない。
- ② **本選**の発表時間は、**エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含めて2分以内**とする。
※学校名は言わない。これに違反した場合は、減点の対象とする。
- ③ **予選**の発表時間は、**エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含めて1分30秒以内**とする。予選も学校名は言わない。これに違反した場合は、減点の対象とする。
- ④ 「1分35秒」の時点でベルを鳴らし、ベルが鳴ったら途中でもやめること。予選では、タイムオーバーによる減点はしないものとする。
- ⑤ 予選の原稿は、本選で読む原稿の中から選ぶものとし、どこから読んでもよいものとする。
- ⑥ **予選で読む箇所には、棒線**を付すこと。
- ⑦ 申込書の「ゆかりの根拠」の欄には、「例：千葉県が舞台となっている作品」などのように、ゆかりの根拠を書くこと。

* 本コンテストで推薦を受け**全国大会で発表する場合**には、**効果音やBGMを併用することは可能です。**(スライド使用は不可) また発表時間は、**学校名、氏名、作者名、作品名を含めて2分以内**となっていますので、そのことを考慮して抽出箇所を決めて下さい。

4. 参加申し込み：

参加申込用紙(エクセル)を「<http://homepage3.nifty.com/ncon-chiba/>」からダウンロードし、申込用紙に必要事項を記入のうえ、**10月31日までにメールの添付ファイル**でお送り下さい。

申込先のメールアドレスは、高文連放送専門部会加盟校に送付されている「平成18年8月29日付千高文連放第22号文書〔千葉県高等学校総合文化祭「第19回千葉県高文連放送コンテスト」開催について(依頼)〕」でご確認下さい。この件に関してのお問い合わせは、県立京葉工業高校 矢嶋 真までお願いします。

「募集要項」および「参加に必要な書類」は**9月上旬**に「<http://homepage3.nifty.com/ncon-chiba/>」にアップ致します。ダウンロードしてお使い下さい。なおこのHPにアップされている書類は以下のものです。

| | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 【19募集要項】(PDF) | 【19申込用紙】(Exsel) |
| 【19著作物一覧表+様式】(PDF)：「作品表紙〔様式1-1〕」 | 「スタッフ・キャスト〔様式1-2〕」 |
| | 「著作物一覧表〔様式1-3〕」 |
| | 「アナ朗表紙〔様式2-1〕」「原稿用紙〔様式2-2〕」 |
| 【19著作権処理】(PDF)：「音楽著作物使用に関する著作権処理について」 | |
| 【19音源使用許諾申請書】(PDF)：「音源使用許諾申請書」 | |

5. 作品提出：〈期 日〉**11月25日(土)**

- ① 「アナウンス部門」「朗読部門」の原稿は**9時25分までに**、受付に提出してください。
※1 時間は厳守して下さい。9時25分までに原稿の提出がない場合は、原則としてコンテストには参加できませんので、くれぐれもご注意下さい。
※2 受付時間内であっても、いったん受付に提出された原稿はお返ししません。
- ② 「VM部門」「AP部門」の作品、台本は**14：00～14：30までに**受付に提出してください。
※1 「AP部門」については、**11月26日の朝、機器操作のリハーサル**を行います。
※2 作品の提出は、時間を厳守してください。作品が**14：30までに届かない場合には、原則としてコンテストには参加できませんので、くれぐれもご注意ください。**
※3 テープ・CD-Rの本体およびケースには、規定のラベル(参加票)を貼付してください。
※4 著作権処理は各校で責任を持って行ってください。なお、音源製作会社から使用許可の出たJASRAC管理の音楽著作権処理については、一括して行います。
作品提出時に、それぞれの作品1本について、**録音利用明細書***(<http://www.jasrac.or.jp>からダウンロードした用紙に必要事項を記入したもの)と、**それにかかる料金を提出**してください。
※ここでいう「録音利用明細書」は、台本に添付した以外に、手続き用として「もう1枚必要」という意味ですので、間違えないようお願いします。

(詳細は、「<http://homepage3.nifty.com/ncon-chiba/>」上の「19著作権処理」(PDF)を参照して下さい。)

6. 台本・原稿提出

「VM部門」「AP部門」は作品提出時に、「アナウンス部門」「朗読部門」は予選受付時に以下のことを満たした台本・原稿を提出する。ただし、予選免除者は、本選受付時でもよい。

【VM部門, AP部門】

- ① 1～2ページは〔様式1-1〕を用い、2ページには制作意図(200字程度)を記入する。
- ② 本文は3ページから記入する。A4サイズであれば本文の様式は特に定めないが、上部に効果(音)、映像および時間等を、残りの下部にナレーション(内容)等を記入する形式のものを使用する。
- ③ 本文の最終ページの後ろに、〔様式1-2〕と〔様式1-3〕をコピーし、必要事項を記入したものを貼付する。「使用著作物一覧表〔様式1-3〕」の記入については、「校内放送研究 No139」(Nコン要項)の「使用著作物一覧(見本)」を参照のこと。
- ④ 市販の音源を使用した場合には、音源製作会社からの「音源使用申請に対する回答書」のコピーを台本の後ろに添付する。
- ⑤ 音源製作会社から使用許可の出たJASRAC管理の音楽著作権物については、JASRACの録音利用明細書(<http://www.jasrac.or.jp> からダウンロードした用紙に必要事項を記入したもの)のコピーを台本の末尾に添付する。
- ⑥ 仕上がりは二つ折り、袋とじ、A5サイズとし、2部提出する。
※ 提出台本のうち1部は、主催者側で保管させていただきます。

※自作以外の著作物の複製を利用する場合は、著作権者に使用目的などを説明して理解と協力を求め、使用許可を得ること。同様にプライバシーを含む人権にも十分配慮し、許可を得ること。

【アナウンス部門, 朗読部門】

- ① 1～2ページは〔様式2-1〕を用い、本文は2ページから記入する。
- ② 3ページ以降は、〔様式2-2〕(400字詰め原稿用紙)を用いる。
- ③ 学校名は、本文の最終行から1行あけて記入する。(1行あけたら次ページになる場合は、欄外でもよい)
- ④ 仕上がりは二つ折り、袋とじ、A5サイズとし、2部提出する。

7. 審査員： 千葉県高等学校文化連盟放送専門部会が指名する。

* 「アナウンス部門」「朗読部門」の予選(11月25日)の審査は、原則として参加校の顧問の先生全員にお願いする予定です。恐れ入りますが、参加申込用紙の「審査員」の「第一希望」の欄に“アナウンス”“朗読”“両部門”のいずれかをお書きください。

* 本選では、会場審査制を採用しています。会場参加学校単位で、各部門ごとに規定数の優秀作品を選出していただきます。

8. 全国大会： 平成19年8月1(土)、2日(日) 島根県

・AP部門のリハーサル：7月31日(金) ・交流会：8月1日(土)、2日(日)

※全国大会に推薦する作品数(校数)は、次のとおりである。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1) VM部門：2作品(各5名計10名) | 2) AP部門：1作品(5名) |
| 3) アナウンス部門：3作品(各1名計3名) | 4) 朗読部門：3作品(各1名計3名) |
- ()内は全国大会推薦予定人数

9. 関東大会： 平成19年1月20日(土) 群馬県

※関東大会に推薦する作品数(校数)は、次のとおりである。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1) VM部門：1作品(5名) | 2) AP部門：1作品(5名) |
| 3) アナウンス部門：3作品(各1名計3名) | 4) 朗読部門：3作品(各1名計3名) |
- ()内は関東大会推薦予定人数

10. 注 意：

- ① 申し込み後の変更はいっさい認めません。内容、タイトル等はよく考えてから申し込んで下さい。
- ② 申し込み締め切り日から3日以内に、「参加申込書」を受領した旨のメールをお送りします。

そのメールが届かない場合には、必ずご連絡下さい。（連絡がない場合は、責任を負いかねます。）

- ③ 審査の公平を期するために、作品から校名を排除するような規定になっています。もう一度ご確認ください。
- ④ 故意でなくても、コンテスト中に携帯電話の着信音を鳴らす等のコンテストを妨げる行為があった場合には、その当事者を退場とします。なお、その当事者がアナウンス部門、朗読部門の発表者だった場合には、失格となります。
- ⑤ 「アナウンス部門」「朗読部門」とともに、予選と本選の原稿は同一のものとします。（予選通過者の原稿は、そのまま本選で使用します。）
- ⑥ アナウンス、朗読部門の本選演順は、予選終了後本人のくじ引きにより決定します。予選免除者で、予選当日来られない者については、代理人にくじを引いていただきます。（代理人がない場合は、主催者側で処理します。）
- ⑦ 全国大会に推薦された場合、規定人数(生徒)分の旅費は、規定の金額を千葉県高文連がお支払いいたします。それ以外の費用については各学校等でご負担ください。（詳細については、後日該当校に連絡いたします。）
- ⑧ 音楽に関する著作権については、JASRAC(TEL. 03-3481-2121, <http://www.jasrac.or.jp>)にお問い合わせください。
- ⑨ 万一、著作権等でトラブルが発生した場合の処理は、各学校でお願いします。
- ⑩ 公開審査ですので、一般の見学者も歓迎致します。

11. その他：

本コンテストのプログラムの表紙（デザイン）を、みなさんから広く募集しています。

詳しくは10月10日頃までに、矢嶋（県立京葉工業高等学校）までお問い合わせください。

【ラベル様式】

* この内容の書かれたシールを、テープ本体、テープケース、CD-R本体およびケースに貼付してください。

〔VTRテープ本体およびケース用〕

| | |
|-----------------------|----------|
| 第__回千葉県高文連放送コンテスト参加作品 | |
| 学校名 | |
| タイトル | |
| 部 門 | ビデオメッセージ |

〔カセットテープのケース用〕

| | |
|-----------------------|------------|
| 第__回千葉県高文連放送コンテスト参加作品 | |
| 学校名 | |
| タイトル | |
| 部 門 | オーディオピクチャー |

〔CD-R本体およびケース用〕

| | |
|-----------------------|------------|
| 第__回千葉県高文連放送コンテスト参加作品 | |
| 学校名 | |
| タイトル | |
| 部 門 | オーディオピクチャー |

〔カセットテープ本体用〕

| | |
|----|------|
| 校名 | タイトル |
|----|------|

【 テストパターン 】

